

目指せ1人1日廃棄ごみ400g以下

みんなで実践!

お手軽

生ごみ減量術



市は、市民1人が1日に出すごみの量を400g以下と定め、減量に取り組んできました。昨年度は1人1日412gとなり、目標達成まであと一歩です。この連載では、家庭から毎日のように出る「生ごみ」の効果的な減量法を紹介。簡単にできるので、早速今日から始めてみましょう!

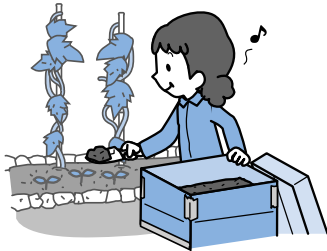
このページに関するお問い合わせは、
ごみ減量推進課 ☎211-2928

第3回

生ごみから堆肥を作ろう!

生ごみを減らす究極の方法!

家庭の燃やせるごみの約4割を占める生ごみ。この生ごみを再利用して堆肥を作ると、大幅にごみを減らせるだけでなく、野菜や花の肥料としても使えて一石二鳥です。また、できた堆肥は、清掃事務所などで無料で引き取りもしています。



段ボール箱を使う堆肥化がおすすめ

堆肥作りの材料代が安く、特別な技術も必要ないので、手軽に始められます。

段ボール箱での堆肥化のメリット

- ・箱や堆肥化基材などが安価
- ・室内で堆肥を作るため冬でも行える
- ・1箱で、4人家族1日分の生ごみ約500gを3カ月程度処理できる

やってみよう! 段ボール箱で生ごみ堆肥作り

手順1

材料を用意し、段ボールを組み立てる

【用意するもの】

- ・段ボール箱…2箱
- ・ピートモス…150
- ・もみ殻くん炭…100
- ・シャベル 角材など
- ・ガムテープ

※ピートモスともみ殻くん炭は、ホームセンターなどで購入できます

段ボールの上ふたを起こし、四隅をテープでとめる。別の段ボールで、ふたを作り、底を二重に補強する。ピートモスともみ殻くん炭を、箱の深さ15cm程度まで入れてかき混ぜる。

15度以上の
場所に置く

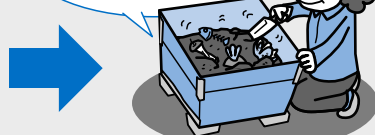
角材などの
上に置き通気性
を確保



手順2

生ごみを入れて
かき混ぜる

ごみを入れない日も
1日1回はかき混ぜて
空気を取り込もう



調理くずや食べ残しを小さく切って入れ、シャベルでよくかき混ぜる。終わったら、防虫・防臭のためふたをする。

手順3

熟成させる

約3カ月
続けたら



生ごみの投入をやめる。その後、10日に1回かき混ぜながら、約2カ月熟成させると堆肥が完成!

生ごみ堆肥化を実践中の方に聞きました



生ごみが、微生物の力で分解されて消えることに驚きを感じます。生ごみを土に戻し、堆肥として役立てることは、一番身近な資源の循環です。燃やせるごみは、生ごみが入らないのでおわず、小さな袋で週1回の回収で済んでいます。

段ボール箱を使った生ごみ堆肥化に
10年以上取り組んでいる
市谷みな子さん

生ごみハンドブックを配布しています

段ボールを使う堆肥化をはじめ、コンポスター、密閉式容器、電動処理機を使う堆肥化の方法も紹介しています。

配布場所 市役所12階ごみ減量推進課、清掃事務所など
HP www.city.sapporo.jp/seiso/gomi/namagomi/namagomihandbook.html



11月10日(土)
10時~17時

「エコ料理 de はじめまショー」を開催!

料理研究家のトークショーや生ごみ減量グッズが当たるクイズ大会のほか、エコな料理レシピコンクール入賞作品のパネル展示も行います。

会場 イオンモール札幌発寒(西区発寒8条12丁目)

困ったときは、
生ごみ堆肥化相談窓口へ

堆肥化の方法を詳しく知りたい、においや虫が発生したなど、堆肥化の疑問や困り事の相談に、
電話、ファクス、Eメールで応じます。
電話・ファクス 621-5318 (電話受付は10時~16時。日曜、祝日を除く) Eメール kitagomi@alles.or.jp